

## 新潟大学 倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	副腎静脈サンプリングの右副腎静脈採血における術中 CT 併用の有用性に関する研究
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	2015年5月から2023年4月までの8年間、新潟大学医歯学総合病院の放射線診断科において行われた副腎静脈サンプリング検査の全184患者。(今回が初めて行う研究となります)
③概要	<p>原発性アルドステロン症は完治できる可能性のある疾患で、その治療方針決定に重要な検査が副腎静脈サンプリングです。このカテーテル検査は、右副腎静脈からの採血が特に難しく、手技的成功率が伸び悩む原因の一つとなっています。改善を期待できる方法として術中CTの併用があり、新潟大学医歯学総合病院放射線診断科でも術中CTを併用した検査を行っています。過去8年間の成績を後方視的に再評価し、術中CTを併用することによる有用性を明らかにすることが研究の目的です。研究は、既に撮影した画像や採取した血液検査の情報を新たに利用することで行いますので、患者に新たな負担が生じるものではありません。検査前の同意書でも説明したとおり、情報は匿名化した上で利用します。本研究には拒否する機会があり、拒否しても不利益はありません。</p>
④申請番号	2023-0308
⑤研究の目的・意義	副腎静脈サンプリング検査の右副腎静脈採血において術中CTを併用することで手技的成功率の向上が得られるかどうかを研究します。
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から2025年9月30日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法(他の機関へ提供される場合はその方法を含む。)	既に撮影されたCTや血管造影の画像を再評価し、個人が特定されない形で匿名化した上で研究に利用します。また、右副腎静脈へのカテーテル挿入の成否判定は、採血した血中コルチゾール濃度の数値情報を用いて決定します。他に、身長や体重、被ばく量などの因子が、右副腎静脈のカテーテル挿入の成否と関連するかを解析します。(他の機関へ提供はありません)
⑧利用または提供する情報の項目	画像(CT、血管造影)、血液(血中コルチゾール濃度)、診療記録(身長、体重、性別、年齢、被ばく量など)
⑨利用する者の範囲	新潟大学および以下の共同研究機関等で利用いたします。 新潟大学 放射線診断科 佐藤 辰彦
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学 放射線診断科 佐藤 辰彦
⑪お問い合わせ先	<p>本研究に対する同意の拒否や研究に関するご質問等ございましたら下記にご連絡をお願いします。</p> <p>所属：新潟大学医歯学総合研究科 放射線医学分野</p>

	<p>氏名：佐藤 辰彦</p>
--	-----------------

Tel：025(227)-2315

E-mail：tsato@med.niigata-u.ac.jp